

2008年7月28日

ネット上で利用可能な超軽量 3D データ開発のラティス・テクノロジー株式会社に資本参加 3次元モデルによる建築設計の更なる普及拡大を推進します

福井コンピュータ株式会社

建築・測量・土木のトータル CAD メーカー、福井コンピュータ株式会社（本社：福井県福井市、代表取締役社長：小林 眞）では、インターネット上で利用可能な超軽量 3次元データフォーマット「XVL：eXtensible Virtual world description Language」開発のラティス・テクノロジー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鳥谷 浩志）に資本参加致しました（発行済株式総数の 6.44%）。

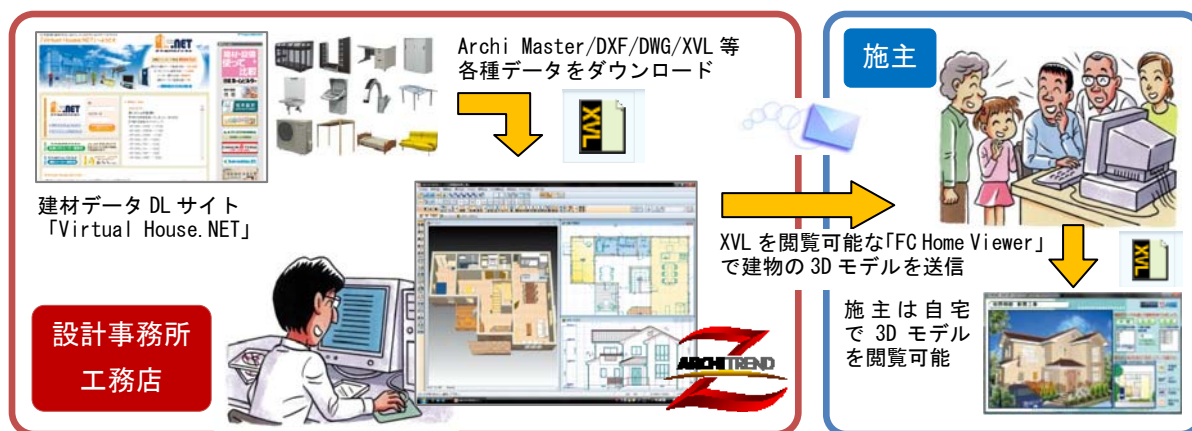
今回の資本参加により、2001年6月に発表した技術提携以上の協力関係を構築し、建築業界における 3次元設計の更なる普及拡大を推進します。

3次元建築設計システム「ARCHITREND Z」等における XVL データの活用

軽量 3D データ「XVL」は、世界最高水準の軽量性、省メモリ性、表示速度の速さが高い評価を得ており、国内外の製造業において普及が進んでいます。

福井コンピュータでは、3次元建築設計システム「ARCHITREND Z」や、ハウジングシミュレーションシステム「ARCHITREND Virtual House」において、XVL 形式の入出力機能を搭載しています。

また、建材データダウンロードサイト「Virtual House.NET」では、10 万点以上の実建材データを XVL 形式で無料提供しており、3 万人以上の建築設計者の方々に、毎月 500 万点以上のデータをご利用頂いています。



このような取り組みにより、ARCHITREND シリーズをご利用頂くお客様においては、軽量な XVL データを介して、3次元で設計した建築モデルに実建材データを組み合わせ、建築

物のイメージを、リアルに簡単に3次元で作成することができます。

作成したXVLデータは、無償のXVLビューワで確認することが可能なため、工務店や設計事務所の担当者と施主間の打合せも、インターネット上で3次元モデルを見ながら簡単に行うことが可能です。

今後は、これまで以上に軽量で、高精度な3次元モデルの活用を軸に、建築業界における3次元設計の普及拡大に取り組んでいきます。

- XVLとは？

「XVL」(eXtensible Virtual world description Language)は、XML(eXtensible Markup Language)をベースとした超軽量3D表現として、ラティスが提唱する表現形式です。XVLを用いることで、3次元CADなどで生成されたデータを数百分の1にまで軽量化することができます。また、メモリが少ない環境で巨大な3次元データを高速表示する技術の実装により、ネットワーク環境での3次元データ共有に最適な形式です。さらに、XVLに変換されたデータは、無償のXVL Playerで閲覧が可能です。

- ラティス・テクノロジー株式会社概要

ラティス・テクノロジー株式会社はネット上でのグラフィックスソリューションを提供するために1997年10月、慶応義塾大学の千代倉弘明教授らが中心となって設立したソフトウェアベンチャー企業です。「XVL」技術の研究開発と標準化、CADやCGデータをXVLに変換し、これを編集してネット配信可能にするXVL製品群を開発提供しています。「XVL」を最適処理するネット指向3Dコンポーネントソフト、XVLカーネルをベースにネットワーク上でのグラフィックスソリューションを幅広く提供しています。

代表取締役社長：鳥谷 浩志

本社：〒102-0074 東京都千代田区九段南3-8-11 飛栄九段ビル4F

TEL：03-5212-5121 ホームページ：<http://www.lattice.co.jp/>

資本金：7億円

設立：1997年10月

- このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータ株式会社 CADプロモーション部

Tel：0776-67-6210 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

ホームページ：<http://www.fukuicompu.co.jp/>

- XVLに関するお問い合わせは下記までお願いします。

ラティス・テクノロジー株式会社 営業統括本部 マーケティング室

松浦 真弓 /TEL：03-5212-5121